

## プレスリリース

2008年3月31日月曜日

3 p.m.中央標準時/4p.m.東部標準時発表



連絡先電話番号:

雑誌コピーのみ: +1(214)706-1396

その他の情報:

Maggie Francis: +1(214)706-1382

Kate Lino: +1(214)706-1325

Julie Del Barto(ブロードキャスト): +1(214)706-1330

### アメリカ心臓協会の科学的勧告報告

**ハンズオンリーCPRは、バイスタンダーが行う救命の手順をより簡単に！**

**AHAは一般市民に、両手だけの心肺蘇生法を推奨する新たな勧告を発表しました。**

4月1日ダラス発—アメリカ心臓協会(American Heart Association, AHA)は、胸骨圧迫のみ、すなわち両手のみの心肺蘇生法(ハンズオンリーCPR)で、突然倒れた成人の命を救うことが可能であるという新しい科学的勧告を発表しました。

AHAの救急心血管治療(Emergency Cardiovascular Care, ECC)委員会によるこの勧告は、AHA発行のCirculation誌に発表されています。

従来のCPRの訓練を受けていない人や、胸骨圧迫と口対口人工呼吸を組み合わせる従来のCPRを行う自信のない人にとって、ハンズオンリーCPRは命を救う可能性のある選択肢です。

勧告の作成委員長であるでもあるMichael Sayre氏(オハイオ州立大学コロンバス救急医療部 准教授)は、「突然倒れた成人を目撃した人は、ただちに119番通報して、ハンズオンリーCPRと呼ばれるCPRを開始すべきです。このCPRでは、傷病者の胸部中央を強く、速く押すという質の高い胸骨圧迫を、救急隊が到着するまで休むことなく続けます」と述べています。

アメリカでは毎年約31万人の成人が、病院外または救急部で突然の心停止が原因で死亡しています。居合わせた人(バイスタンダー)がただちに効果的なCPRを行わなければ、突然の心停止後の生存率は1分ごとに7~10%低下します。バイスタンダーがCPRを行えば心停止後の生存率は2倍ないし3倍高まりますが、残念なことに病院外で起こった心停止のうち、バイスタンダーによるCPRが行われたのは平均すると1/3に満たないのです。

ハンズオンリーCPRにより、バイスタンダーは従来のCPRの訓練の経験を問わず救命率を向上させるために行動できると、Sayre氏は述べています。

「居合わせた人は傷病者を傷つけはしないかと不安がり、しかもCPRを行う自信がな

いため、助けようとしなことが多いのです」。「我々はみなさんに、119番通報して、救急隊が到着するまで、胸骨圧迫を行うだけで多くの命を救えることを知ってほしいのです。怖がらずに実行してください。突然の心停止を起こした成人傷病者に一般市民のみなさんがハンズオンリーCPRを行えば、多くの命が救われることを我々は確信しています」。

突然倒れた成人にハンズオンリーCPRを行うという新たな勧告は、「AHA心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドライン2005」の内容を一部更新したものです。このガイドラインはこれまで人工呼吸を行えない、または人工呼吸をしたくない市民救助者に対して、胸骨圧迫のみのCPRを行うように推奨していました。今回、突然倒れた成人に行う場合、ハンズオンリーCPRは従来のCPRと同等であるとみなしています。この変更は、2007年に発表された3つの大規模研究のエビデンスによって裏付けられており、各研究は心停止を起こした人に対してバイスタンダーがCPRを行った何百もの事例の転帰を検討しています。どの研究でも、人工呼吸を省略した場合に生存率が下がることはありませんでした。ハンズオンリーCPRは覚えやすく、救急隊が到着するまでの間、より多くの胸骨圧迫をほとんど途切れさせることなく行うことができます

しかしながら、従来のCPRは依然として習得すべき重要なスキルであり、医療従事者が職務を遂行中の場合は従来のCPRを行うべきです。新しい勧告は病院外において心停止を起こした成人を救助しようとするバイスタンダーのみに適用されます。

ハンズオンリーCPRは、乳児や小児、呼吸器が原因で心停止を起こした成人（薬物過量または溺水）、あるいは心停止が目撃されていない成人に行うべきではありません。こうしたケースでは、胸骨圧迫と人工呼吸を組み合わせた従来のCPRが、傷病者に対して最も高い救命の効果をもたらすからです。

したがって、一般市民には従来のCPR訓練を受けることが現在も奨励されます。訓練ではハンズオンリーCPRを行ううえで必要なスキルを学ぶことができ、さらに心血管、呼吸器を原因とする多くの医学的緊急事態のケア、とくに乳児や小児に対するケアに必要なスキルも習得できます。

新しい勧告はバイスタンダーによるCPRの普及拡大を意図しており、「質の高い」胸骨圧迫、すなわち胸壁が完全にもとに戻るようしながら、1分間に100回のテンポで、中断を最小限とした深い圧迫を行うことの重要性を強調しています。

CPRトレーニングに関する詳細は、AHAのウェブサイト ([www.americanheart.org/handsonlycpr](http://www.americanheart.org/handsonlycpr)) を参照してください。

共同執筆者: Robert A. Berg, M.D.; Diana M. Cave, R.N., M.S.N.; Richard Page, M.D.; Jerald Potts, Ph.D.; and Roger D. White, M.D.

###

NR08-1043 (Hands-OnlyCPR/Sayre)